

Title	おわりに
Sub Title	
Author	神成, 文彦(Kannari, Fumihiko)
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」
Publication year	2018
Jtitle	リーディングプログラム7年間の軌跡 (2017. ) ,p.229- 229
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002018-0229">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002018-0229</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## ■ おわりに

### 神成 文彦

リーディングプログラム（オールラウンド型）  
コーディネータ 理工学部教授



2011 年度から先駆的な高度博士人財育成プログラムの構築を目的に実施してきました本プログラムの文部科学省支援が 2018 年 3 月をもって終了します。学内 13 研究科から文系、理系の区別なくこれまで約 80 名の学生を募り、骨太の主専攻の上に、1) ダブルメジャーによる本格的な文理融合と、2) 産業界・行政体との密な連携による革新的な教育環境を構築し、その中で次代のリーダとなりうる資質をもった人財の育成を進めてきました。既に 1 期生は社会に出て遅く活躍しており高い評価をいただいています。また本年度 3 月には 2 期生が旅立ちます。これまで、学内外から多くの方々にご支援いただきましたことに心より御礼申し上げます。

我々は、学生に様々な教育メニューを熟させながらも博士学位の深い専門性の確立は不可欠であると考えてきました。そこで、産業界のメンター指導の元に、多くの人々を巻き込みながら 5 年間一貫進めてきた超成熟社会の課題抽出とその解決について立案する活動は、博士研究のテーマとは並行した、いわゆるアドオン型で進めてきました。副専攻修士課程もまた主専攻とは敢えて異なる学問を選ばせました。これらのメニューは、学生にとって大きな負荷となり大変厳しいプログラムになりましたが、最終的にはこれらを熟せる高い能力と意思を有した人財を育成できたと自負しております。主専攻の博士研究自体に安易に境界領域を広げた文理融合テーマを導入した場合、学生の負荷は低減しても博士人財の柱となる部分の欠如に繋がってしまったのではないかと思います。少数精鋭主義で志の高い学生のみを募り、文理融合のプラットフォームでそれぞれの専門性の上に議論を交わすことで、俯瞰的に全体を見通して課題の抽出と解決策を作り上げてきたこの 7 年間の教育は、新しい大学院教育の 1 つの形を具現化できたと思います。幸いにも慶應義塾大学の独自の予算措置により、来年度からも規模を縮小することなく本プログラムを継続できることになっています。作り上げた教育システムに満足することなく、新しい挑戦と修正を常に加えながら、グローバルな舞台で社会課題を解決できるリーダの資質をもった博士人財を育成すべく努力をしていく所存です。引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。